

青森市ミニデータ

- 人口 263,512人
(男123,008人、女140,504人)
- 世帯数 136,186世帯
(令和7年1月1日現在)
- 特産品
りんご、米、パサラコーン、カシス、トマト、ミニトマト、八甲田牛、ホタテ、ナマコ

【概況】県庁所在地の青森市は青森県のほぼ中央に位置し、北は陸奥湾に面し、南部から東部にかけては八甲田山・東岳の山が連なり、豊かな自然に囲まれています。日本国内の交通・物流における要衝でもあり、特別史跡「三内丸山遺跡」や「青森ねぶた祭」が有名です。



青森県の市町村情報

青森市発★キラリ

各市町村で活躍するグループ・団体・企業等を紹介します。今回は『NPO法人あおもり男女共同参画をすすめる会』をご紹介します。理事長の篠崎有香さんにお話を伺いました。



▲「NPO法人あおもり男女共同参画をすすめる会」篠崎有香さん

現在の会員は162名。さまざまなバックグラウンドを持つ方々が在籍しています。4つの部会（心とからだの健康を考える部会「企画・クリエイティブ部会」「研修・交流部会」「シネマ部会」）活動が特徴で、「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

「働く女性の家『アコール』の指定管理者として、これまでの長年の経験と専門性を活かした事業の運営や施設管理を行っています。現在の会員は162名。さまざまなバックグラウンドを持つ方々が在籍しています。4つの部会（心とからだの健康を考える部会「企画・クリエイティブ部会」「研修・交流部会」「シネマ部会」）活動が特徴で、「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

「ねぶた祭におけるピンクリボンキャンペーン、様々なカタチの愛をテーマにした朗読会、男女共同参画川柳かるた世界大会シネマに関するテーマ展示など、それぞれの視点から長年にわたって独自の取組みを展開しています」。また、月に1度お茶を飲みながら語りあう「じゃらん・じゃらん」は、会員同士がゆるやかにつながる大切な場であり続けているそうです。

私が男女共同参画を担当しています

青森市市民部
人権男女共同参画課
主事

大柳 恵里奈 さん

